

いさやま大介 議員活動風景

- ▶写真左：JR 六甲駅前での街頭活動
- ▶写真右：平成27年11月議会にて初登壇



本議会における「神戸市のスポーツ振興・文化振興」の質疑報告

○いさやま大介

東京オリンピック・パラリンピックに関連して、「水泳」「陸上」「サッカー」「体操」などで事前キャンプ誘致に取り組んでいく、と聞いている。ナショナルチームを招くことは神戸への外国への情報発信の機会になると考えられるが、外国では受け入れ地の施設がバリアフリー化されているかどうかなども重視されていると聞いている。現在の誘致活動の進捗状況とチームを迎える上で、どのような施策を実施するのか教えて欲しい。

○久元市長

現状では、交流のある海外の自治体や競技団体と個別に交渉をするなど積極的に誘致をしている。ブリスベン市にあるクイーンズランド州水泳協会会長にキャンプ地要望を行ったり、スポーツ担当局長がイギリス体操協会を訪れ誘致プレゼンを行ったりしている。あわせて、国に対してはホストタウンに登録されれば各種財政措置や情報提供などの支援が受けられるので、この登録に向けた事前調整を行っている。(2016年1月登録済)

バリアフリー化や英語表記の案内板などの整備については十分な対応をし、万全の体制でチームを受け入れるようにしていきたい。神戸での事前合宿は神戸の存在や魅力を世界に発信できる機会になるのでしっかりと取り組んでいきたい。

○いさやま大介

ポートアイランドスポーツセンタープール PISCP は神戸市の水泳選手の活動の場所として活用されているが、1981年設立で老朽化が激しい。豪州チームの合宿をこのプールに誘致すると聞いているが、これに向けての設備投資および改修予定があるのか。また、灘区にある王子スタジアムは、アメフトの試合を含めて、利用価値のある施設だと思う。地域の方々とアメフト関係者がたちあげた「王子プロジェクト」が中心となり、トイレやバリアフリーなど施設の改修を要望されたと聞いている。王子スタジアムの今後の改修予定があるのか。

○雪村教育長

PISCP は設備改修をはかってきたが、東京オリ・パラの事前合宿誘致には各競技の国際競技連盟基準に適合した設備を充実させることが重要である。今後はホストタウン登録による国の財政措置も活用しながら、PISCP の水泳競技に用いるスタート台やタッチパネルなど必要なシステムの改修を検討していきたい。

平成15年から関西のアメリカンフットボールの新たな拠点となっている王子スタジアムについては、スタンド改修や人工芝の敷設、電光掲示板などの実施で施設機能の維持に努めてきた。他の施設とのバランスをみながら優先順位を決め、施設の長寿命化をはかっていきたい。

○その他に、廃止も検討された「神戸国際フルーツコンクール」についても質問。

今後は、フルーツを中心とする音楽祭にし、多くの市民に親しんで頂ける内容に発展させたいとのこと。



いさやま大介事務所

〒657-0816

神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2 階

(※上野中学校の西側、「五毛天神東」交差点のそば)

電話：070-1930-2368

FAX：078-271-3707



info@isayama-daisuke.jp



http://www.isayama-daisuke.jp/



諫山大介